

る届出書」を申請すれば事業に従事に見合った給与が家族従事者にも給与の支払いが認められ経費に計上することができま。申請することにより損益計算書・貸借対照表を作成し正しい決算をすれば、家族従事者も労働に見合った所得が得られ、社会的にも経済的にも自立することはできま。す。

●後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情

賛成討論 (渡辺俊夫) 国として持続可能な社会を念頭に、年齢を問うことのない一元化した社会保障制度というものを持つべきです。国の新たな施策の早期実現に向けて、基礎地域、即ち村からも声を上げるべきだと考えます。この

現行の制度自体が様々な問題を抱えていることは、新しい政権化でのマニフェストに謳われていることでも明らかです。

反対討論 (柏原良章) 廃止に伴う新たな制度検討により、厚労省で「高齢者医療制度改革会議」というものがスタ

トしています。厚労省の政務3役は、現制度は廃止するか、年齢で区分する問題を解消する等の六原則の提示が示されています。後期高齢者医療制度を廃止し、以前の老人保険制度に戻した場合、市町村の国民健康保険の財政は、一段と悪化させていくものと考えられます。広域化の組織により運営がようやく軌道に乗った状況であり、廃止によりかえって混乱を招く恐れがあるとされます。

●後期高齢者医療制度の即時廃止と生活実態に見合う年金支給を求める陳情

賛成討論 (渡辺俊夫) この陳情に関しては、前の陳情と同様などころがあります。現行の後期高齢者医療制度によ

って、大きな負担を強いることになった年金生活者を救済しなければならぬのは国の役割です。

反対討論 (篠崎久美子) 制度を別建てにすることで、国民健康保険の膨らみ続ける赤字を緩和することに役立っています。自分たち自身で大事な

医療保険制度の破たんを早期に呼び込まぬように気をつけることがまず必要です。年金は決して生活実態に見合っていないとは思えません。生活が苦しいと感じているのは年金生活者ばかりではなく、この不況は国民全体の生活に及んでおり、年金者を支える現役世代の実質的負担は非常に重くなっています。無年金者や低年金者のうち、実際の生活困窮者については年金以外の福祉制度等の利活用により救済する方法もあります。高齢者世代のみのことを主張し、その結果現在の社会を支える現役世代までも実質的に苦しめる結果となります。

●議会会議規則の一部改正

反対討論 (渡辺俊夫) 住民に

信頼され、期待され存在感のある議会を目指すべきであります。大町及び松本市議会その他の議会規則条例には、同様なものが記されています。

大町市議会においては、発言通告書の適用は、一般質問のみで、討論については、採決前日昼までの口頭通告になっ



21年夏にゲートボールを楽しむ高齢者

ています。全国町村議会議長会が主導する第2次地方議会活性化研究会の最終報告に「分権時代に対応した新たな町村議会の活性化の方策あるべき議会像を求めて」という報告があり、その中に一般質問に関しては事前通告制の廃止、また質疑・討論に関して

は本会議の討論活発化のため一問一答方式の採用、議長

の発言許可に弾力的運用、本

議会で意見表明、規約・規制の撤廃等々が謳われています。

賛成討論 (太田 修) 村議会

は、会議規則及び申し合わせ事項を遵守し、円滑な議会運営に取り組むため、会議規則の一部を改正するものです。

特に、一般質問における一問一答方式は、執行機関と対面することにより、迫力と緊張感が生まれています。